

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「共通基盤」領域

2. 重点公募テーマ

革新的な知や製品を創出する共通基盤システム・装置の実現

3. 研究開発課題名

物質の構造解析に用いるフーリエ解析・大域的最適化の高度化

4. 研究開発代表者名（機関名・役職は評価時点）

富安 亮子（九州大学 マス・フォア・インダストリ研究所 准教授）

5. 評価結果

本課題の探索研究期間において、当初に設定した具体的な研究目的に沿った研究を、様々な分野の専門家や企業との事業展開を見据えた連携により推進されており、期間中、特に準結晶構造モデリングについては、材料計測分野で実用性の高い有効性を示したという点で特筆すべき成果と考える。

また、本課題がどのような新しい価値を提供しうるのかについて、材料分野の企業と連携したソフトウェア公開、使用方法解説など、それらを必要としている研究者に十分なツールと情報を提供し、当該分野の研究に影響を与えた。さらに、英語版のソフトウェアの開発に関わる成果により、結晶分析の標準的教科書に掲載され学術的にも大きな価値を示したことなど、日本発研究の国際的なプレゼンスを高めたと認められる。

以上のような、探索研究期間での活動および成果によって、当初の計画は順調に進捗しており、今後の研究開発の進展についても大きな期待が持たれる。

以上